

石巻市 震災伝承に関するアンケート集計結果

I. 市民アンケート

1. 調査の目的

- 地震や津波の体験について、後世の人々や他の地域の人々への伝え方に関する意向把握

2. 調査の概要

- アンケート対象者は、住民基本台帳からの無作為抽出による 2000 名（18 歳以上）
- 郵送による配布回収
- 発送は平成 26 年 1 月 15 日、回収締切は同月 31 日

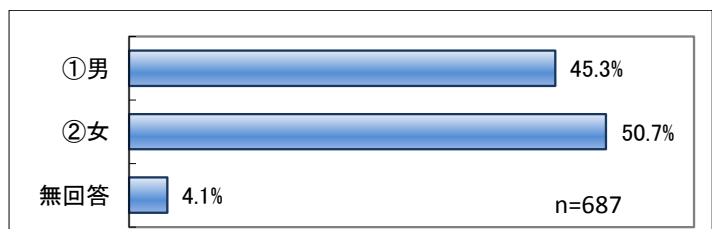
3. アンケート回収状況

- 687 票回収（回収率：34.4%）

4. 集計結果

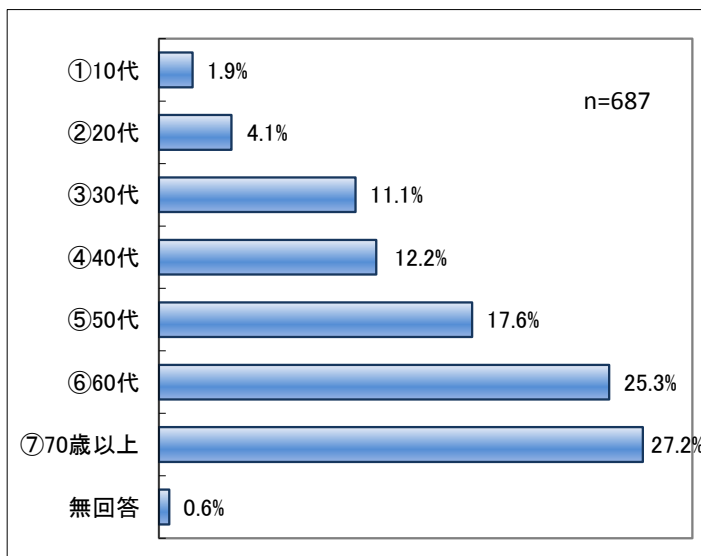
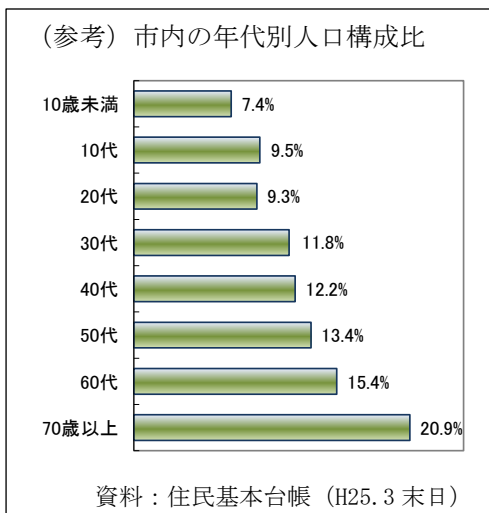
問 1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に 1つだけ 〇をつけてください。

- 回答者の性別は、「男性」が 45.3%、「女性」が 50.7%となっている。



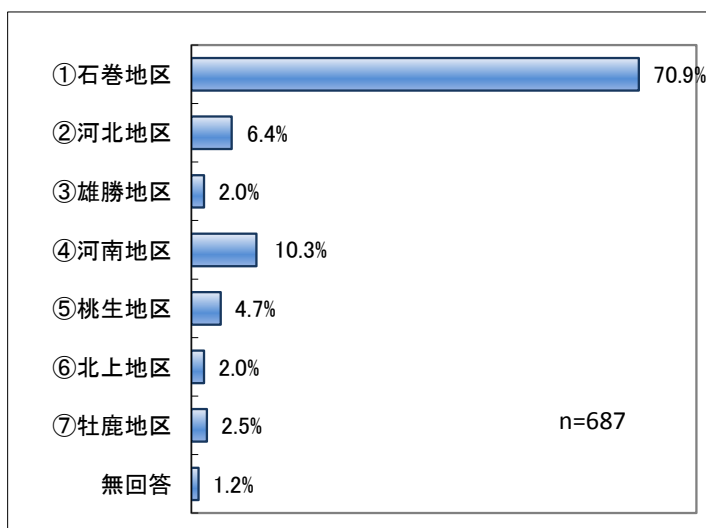
問2 あなたの年齢をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 回答者の年代は、「70歳以上」が最も多く27.2%、次いで「60代」が25.3%、「50代」が17.6%となり、年代が上がるに従ってその割合が高くなっている。
- 回答者の年代構成を、住民基本台帳による年代別人口構成と比較すると、50代以上の割合が高く、20代以下の割合が低くなっている。



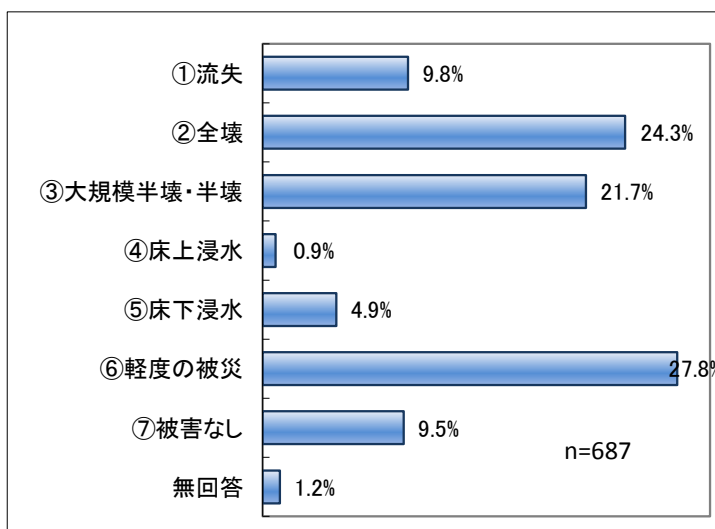
問3 震災前にお住まいだった地区をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 震災前に住んでいた地区は、「石巻地区」が最も多く全体の7割を占めている。その他の地区については、「河南地区」は10.3%、「河北地区」が6.4%と続いている。



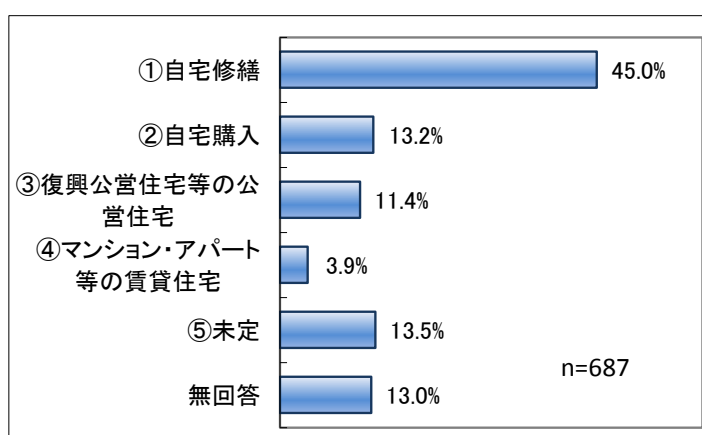
問4 ご自宅の被害の状況について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 自宅の被害状況については、「軽度の被災」が最も多く 27.8%、次いで「全壊」が 24.3%、「大規模半壊・半壊」が 21.7%となっている。一方、「被害なし」は 1 割程度である。



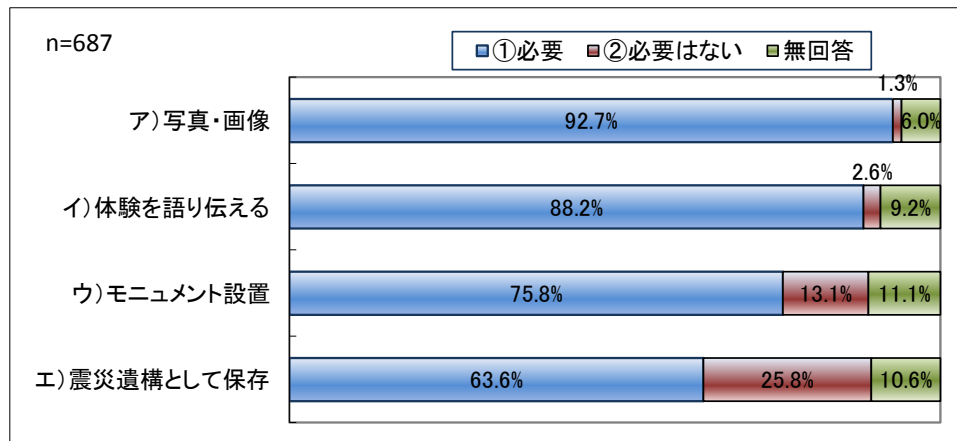
問5 ご自宅の再建状況（予定を含みます。）について、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 自宅の再建状況については、「自宅修繕」が最も多く 45.0%、次いで「未定」が 13.5%、「自宅購入」が 13.2%となっている。



問6 震災の記憶を伝承するための手法についてお聞きします。あなたは、伝承の必要性についてどのようにお考えですか。それぞれ番号に1つだけ○をつけてください。

- 震災の記憶を伝承するための手法として 9 割以上の方が「写真・画像」が「必要」としている。次いで、「体験を語り伝える」についても 9 割弱の方が「必要」と回答しており、これらの手法を中心に多くの方が必要性を感じていることがうかがえる。
- 「震災遺構として保存」について、他の手法よりは必要性が低い傾向にあるが、6 割の方が「必要」と回答している。また、「震災遺構として保存」について、「必要はない」と回答した理由としては、「他の手法で充分」「維持費などにお金がかかる」「見るのが辛い」等の意見がある。
- 各災害の記憶を伝承する方法について「必要」と回答した方が、各年代ごとに占める割合を整理すると、「モニュメント設置」や「震災遺構として保存」といった「もの」として残すことを「必要」と回答した割合は、10 代が最も高い。



【必要はない理由（記述回答）】

ア) 写真・画像 (n=6)

- ・お金がかかる [3]
- ・思い出したくない、辛い [3]

イ) 体験を語り伝える (n=15)

- ・継続できない [6]
- ・お金がかかる [4]
- ・写真・画像で充分 [3]
- ・条例化しては [1]
- ・伝えたい人が伝えればよい [1]
- ・一部のガイドが体験者ではないので真実味が伝わってこない [1]

ウ) モニュメント設置 (n=70)

- ・お金がかかる [22]
- ・意味がない、必要性を感じない [16]
- ・復興、生活再建など他のことにお金を使って欲しい [15]
- ・他の手法で充分 [6]
- ・記念公園として活用を [3]
- ・漠然としている、分からない [3]
- ・維持できない [2]
- ・集約した方がよい [2]
- ・思い出したくない、辛い [2]
- ・心の中に記憶することが大事 [1]
- ・人が元気であることが復興のシンボルになる [1]
- ・遺族の気持ちはどうなのか [1]
- ・大した問題ではない [1]

エ) 震災遺構 (n=151)

- ・他の手法で充分 [45]
- ・維持費などお金がかかる [29]
- ・思い出したくない、見るのが辛い [27]
- ・他の事にお金を使って欲しい [17]
- ・被災者や遺族の心情を考慮 [15]
- ・意味がない、必要性を感じない [12]
- ・維持・管理が難しい [9]
- ・全て残す必要はない [5]
- ・復興した姿、新しいまちづくりを [4]
- ・土地の有効活用 [3]
- ・風化する、じゃまになる [3]
- ・復興の妨げになる [3]
- ・安全性に問題 [2]
- ・その他 [13]

オ) その他 (n=77)

■手法[43]

- ・写真・画像等の記録、語り [10]
- ・津波の高さ、到達ラインの標示、避難場所までの案内 [10]
- ・学校教育等子どもの頃からの教育 [5]
- ・観光資源として残す [3]
- ・震災遺構は数を限定して（1つか2つ程度） [3]
- ・避難訓練等次に災害が起きた時の対策 [2]
- ・震災伝承館や博物館等の施設整備 [2]
- ・石碑、モニュメントの建立 [2]
- ・文化財として旧石巻ハリストス正教会や住吉公園の再生、中瀬を整備
- ・被災跡地の有効利用
- ・追悼式典などをきちんと行い幅広い世代に伝えていく
- ・保存される建築物や公園などの看板（目をひくようなもの）
- ・ガソリン不足でスタンドに行列の状況等を何かの方法で伝え、残す
- ・良くするには先はお金です税金その必要ないのであれば全部残す

■伝承していく上での考え方[18]

- ・今後大きな災害がおきた時犠牲者をなるべく出さないようにする事が大事 [3]
- ・記録や伝承は大事だと思うが、遺族や被災者の気持ちにも配慮してほしい [2]

- ・ある程度の物は必要と思うが、その後の維持管理面で大変になってくる [2]
- ・伝承する必要はあるが、被災した構造物等の痕跡は復興の妨げになる為無くして0（ゼロ）から新しい石巻を踏み出した方がいいと思う
- ・多くの人に見ていただき感じてもらうことも必要
- ・保存に多額の費用（ランニングコスト）がかかるようなら避ける
- ・お金がかかりすぎて後世に伝えていくのは良いが私は今の生活が大変である
- ・一部は必要と思うので本当のすがたの物を残して
- ・必要とは思いますが、必要ないと感じる方もいると思う、難しい
- ・伝承の仕方、方法をもっと考えた方が…
- ・人の心を思った、伝承ならばよい
- ・これから生きて行かなければならない人が困っている、それが何より大切
- ・被災した遺構建築物を残した場合、何十年後の姿を想像すると保存の費用ばかりかかる
- ・市議会あるいは検討会で決定してほしい

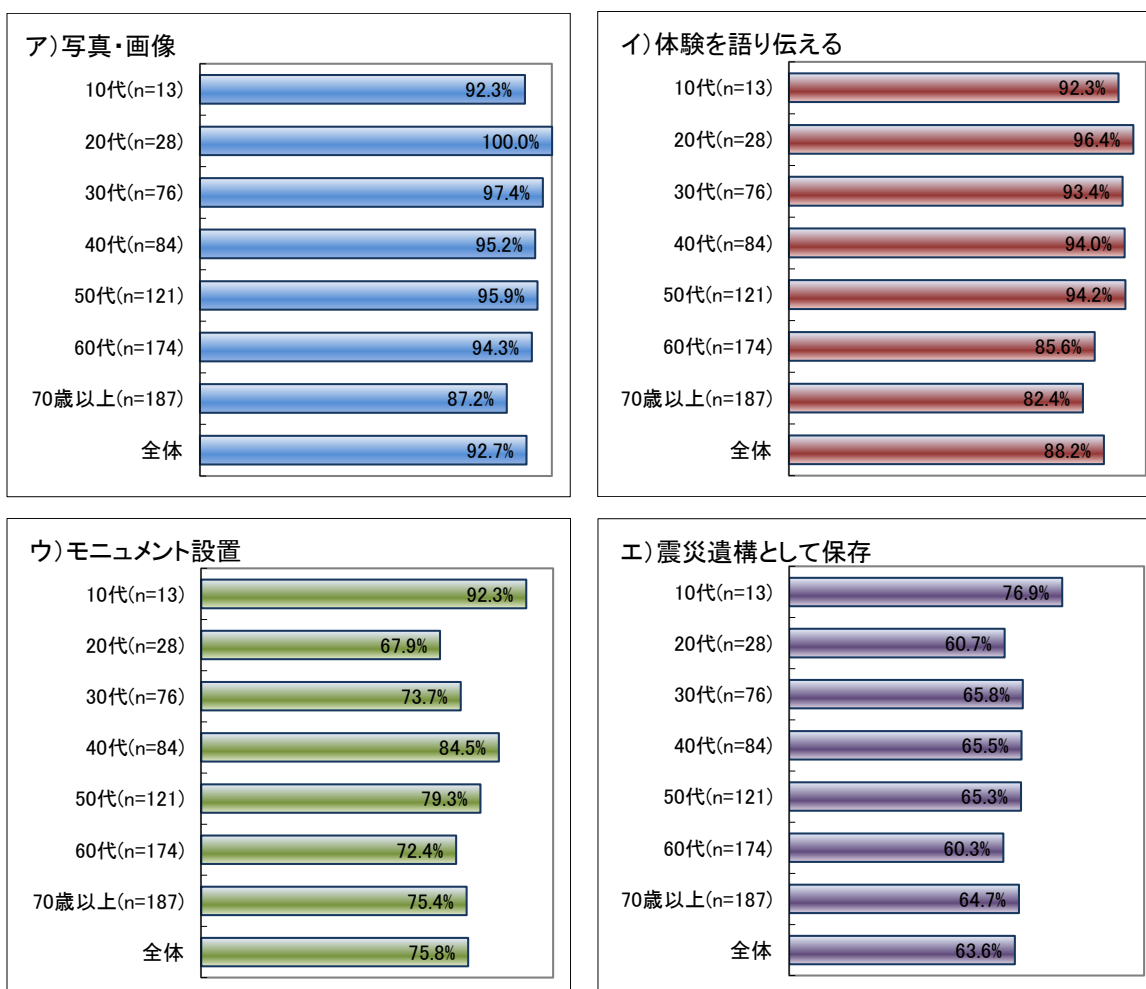
■必要ない [16]

- ・無駄遣い、お金がかかる [7]
- ・辛い、見たくない、被災した日に戻される [3]
- ・門脇小学校を残す必要なし。門脇地区の復興に何のプラスも感じない
- ・被災建築物を解体した上で復元するという考えが全然理解出来ない。まだ、復興が進んでないし、自宅修繕などで余裕なく生活しているのに、復元工事などと言う考えがおかしいのでは？
- ・伝承しなければならないのかわからない
- ・早く住宅の方へ
- ・1人暮らしだから
- ・長い間（何百年何千年）には腐食したり風雪に耐えかねてかえって見にくくなり負の遺産にもならない。（自然がしたものだから）

■分からない [2]

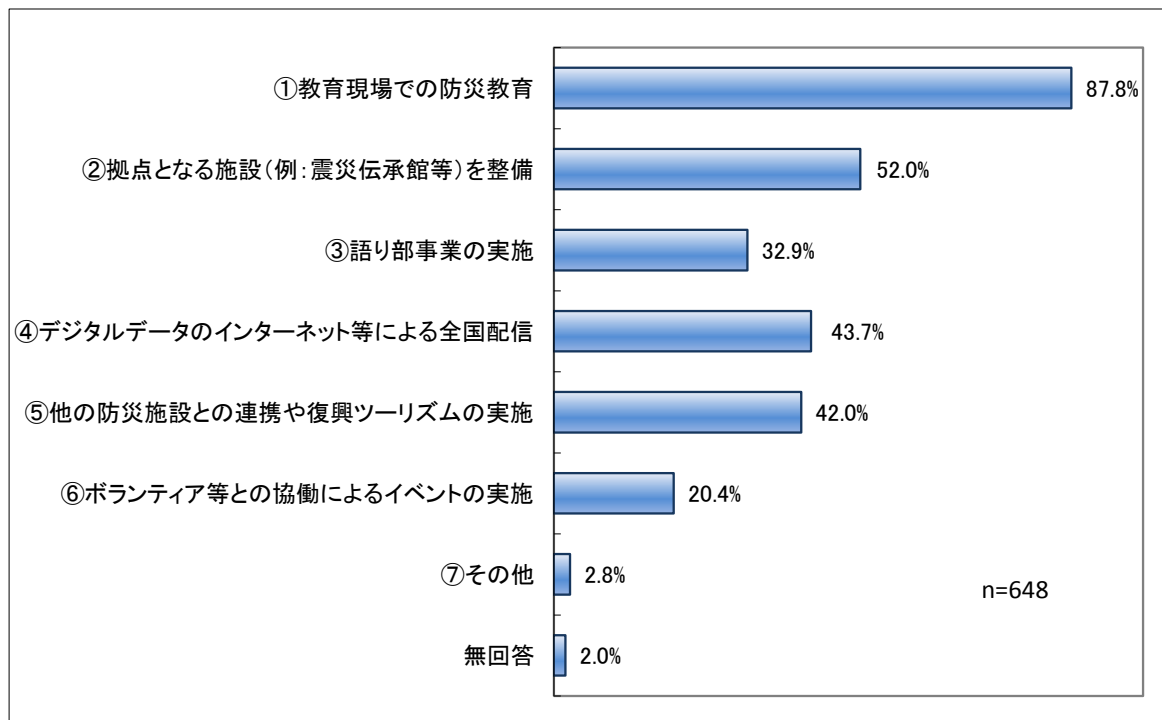
■特になし [3]

[震災の記憶を伝承するための手法ごとに「必要」と回答した年代ごとの割合]



問7 「震災の記録を伝えていく」手法は、どのようなものが考えられますか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

- 「震災の記録を伝えていく」手法としては、9割近くの方が「教育現場での防災教育」と回答している。その他、「拠点となる施設（52.0%）」、「インターネット等による全国配信（43.7%）」、「他の防災施設との連携や復興ツーリズムの実施（42.0%）」の順が続いている。



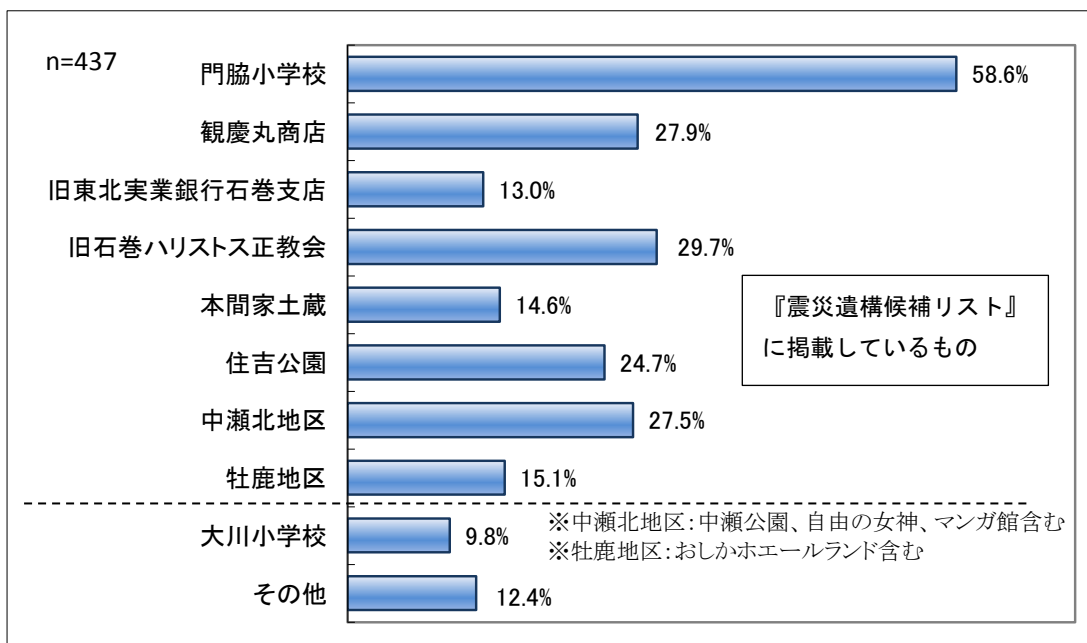
【⑦その他（記述回答）】

- ・震災の記録を本にまとめ、図書館などで見られるようにする
- ・防災で生死を分けた良い方法や生きのびた方々の状況などDVDにし、防災の日に学校や施設で見せる
- ・修学旅行や観光ツアーへの組み込み
- ・他の被災地（奥尻、神戸等）の復興までの過程を勉強会
- ・3.11を休日とする
- ・避難訓練を通じての災害の恐さを皆に説明する
- ・④については、いくら全国配信で伝えようとしても興味が無いと聞かないので意味が無い。興味のある全国の方々は他の方法で知ることが出来る。
- ・石巻市の地区別に、住人から、3/11あの時どこで何をしたか本にして残す。どのようにして、生存できたのか？！
- ・逆手に取って観光・名所等、市に集客する要素とする
- ・現在のコミュニティーセンター等の活用
- ・写真・画像で伝えていく
- ・3月11日を大震災記念日とし（学校で半日(終日は長すぎる)位)大震災を伝えていく
- ・現代の体験者である子ども達、そこが貴重だと思う（災害は忘れた頃にくるから）
- ・地区ごとの防災教育も必要だと思う
- ・町内での集まりなどの時、防災意識確認
- ・保存するだけで良い
- ・子ども達の安全を学校現場に丸投げするのはよくない。本来は、地域全体で考えていくべきことだから。
- ・皆が今の時代について行けません

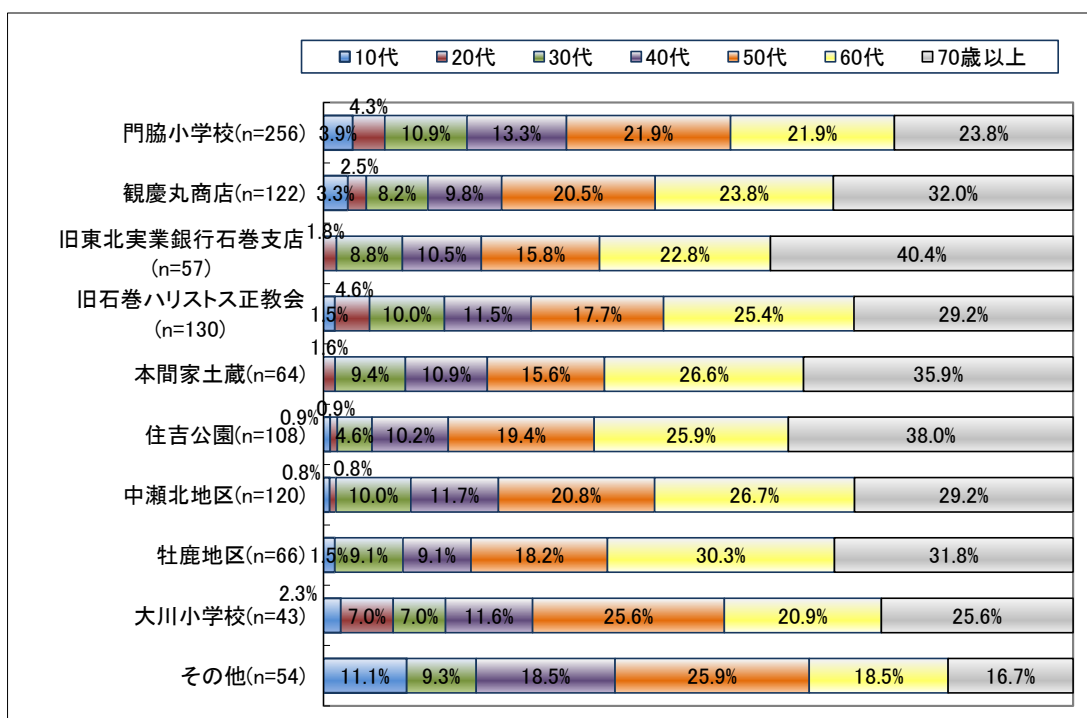
問 8 石巻市内で震災遺構の候補となる被災建物等は、どのようなものが考えられますか。回答された「震災遺構の候補となる被災建築物等」の保存手法、なぜ残す必要があるのか（残す理由）について、あてはまる番号に○をつけてください

【震災遺構の候補となる被災建物等】

- 「門脇小学校」が最も多く 58.6%となっている。これに次いで多いのが、「旧石巻ハリストス正教会」、「観慶丸商店」、「中瀬北地区」の順に 3 割程度となっている。
- アンケート票と一緒に配布した『震災遺構保存候補対象物リスト』に基づく被災建築物』に掲載していなかった建物のうち、もっとも多く名称が記載されていたのは「大川小学校」である。
- 年代別に見てみると、震災遺構の候補となる被災建物等として回答の多かった「門脇小学校」については、年代が若い方の推挙した割合が高い傾向にある。



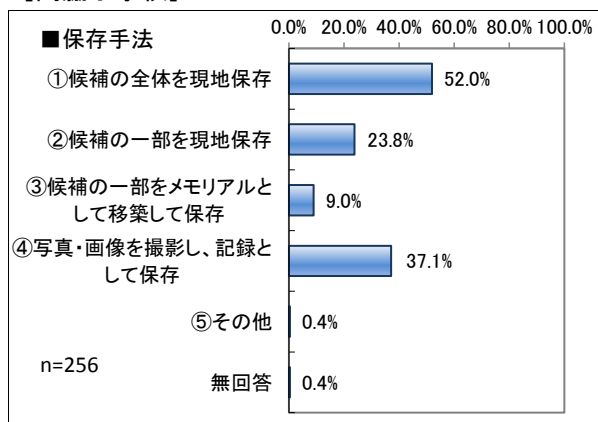
[震災遺構の候補して挙げられた被災建物等ごとの、推挙した年代構成]



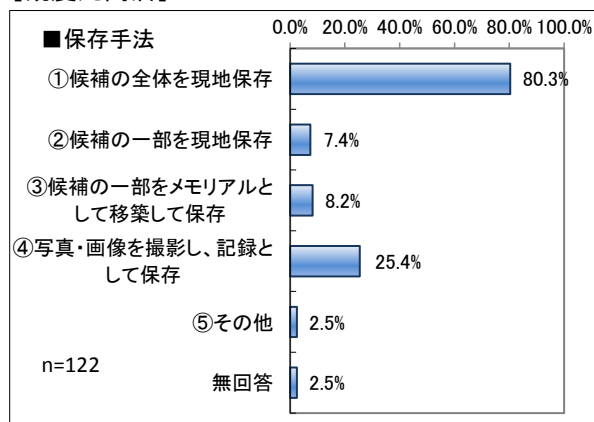
【保存手法】

- 被災遺構の候補として挙げられている全ての建物等について、「候補の全体を現地保存」がいずれも最も多くなっている。

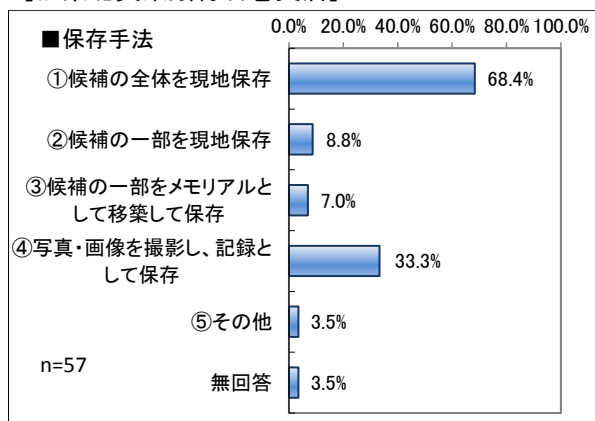
[門脇小学校]



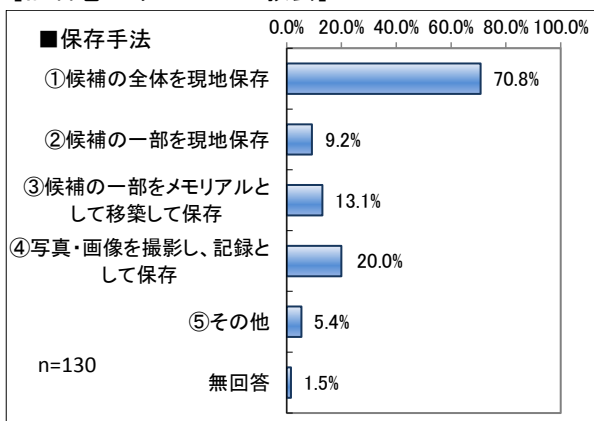
[観慶丸商店]



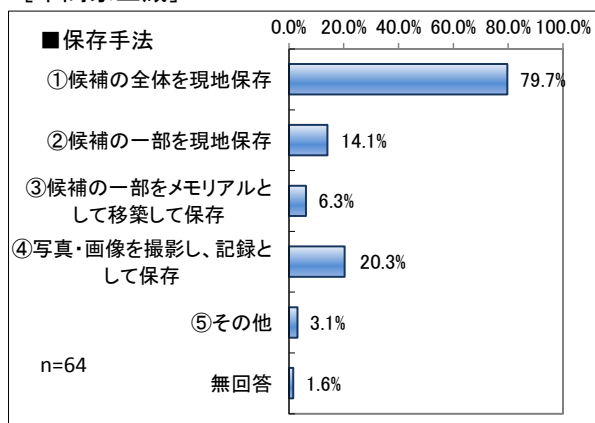
[旧東北実業銀行石巻支店]



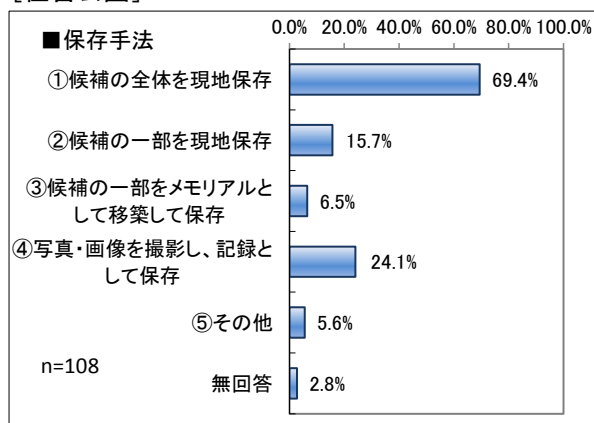
[旧石巻ハリストス正教会]



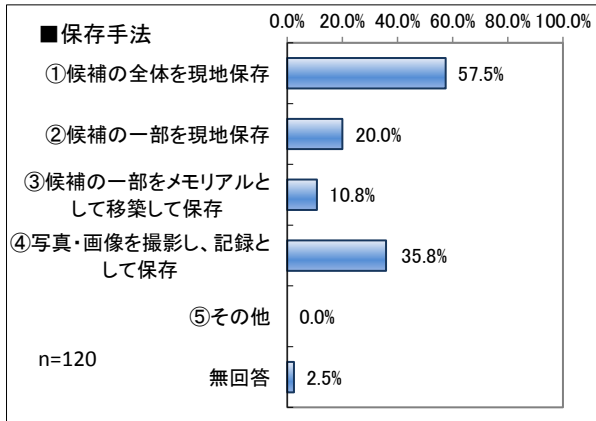
[本間家土蔵]



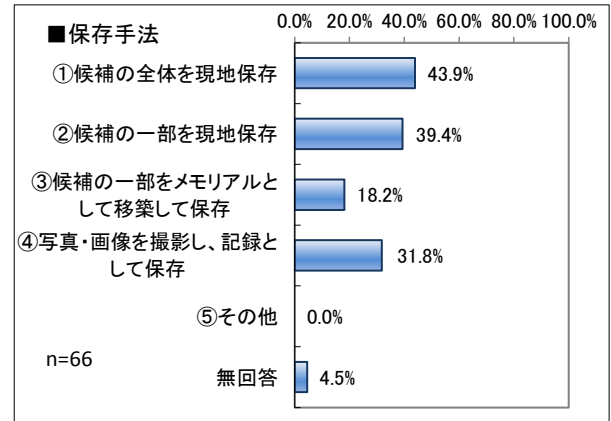
[住吉公園]



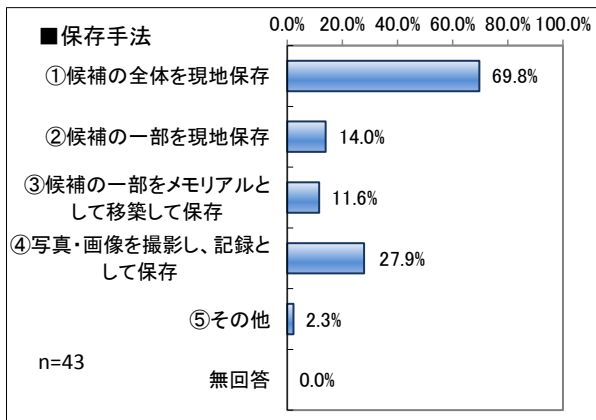
[中瀬北地区]



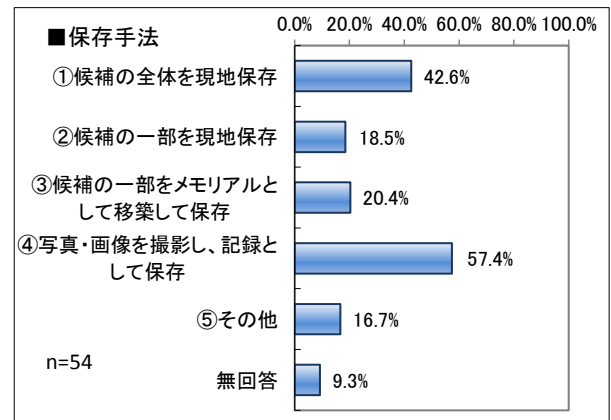
[牡鹿地区]



[大川小学校]



[その他]



【⑤その他（記述回答）】

■門脇小学校

- ・大震災前後のジオラマ化

■観慶丸商店

- ・巨大地震・津波に耐えて残った事を、アピール。市民ですら分からないのでは。
- ・全体移築
- ・将来への史料館として残すべき

■旧東北実業銀行石巻支店

- ・巨大地震・津波に耐えて残った事を、アピール。市民ですら分からないのでは。
- ・全体移築

■旧石巻ハリストス正教会

- ・安全な場所に全体移築 [4]
- ・建物の中に写真説明書を大文字で展示しておく
- ・復元 [2]

■本間家土蔵

- ・全体移築
- ・門脇小、ハリストス教会と一緒に場所に残す

■住吉公園

- ・復元、修復、再整備 [3]
- ・津波被害を示す記念碑等の設置
- ・市の計画とおり整備
- ・水辺として良い場所、大事にするべき

■大川小学校

- ・全体を現地保存

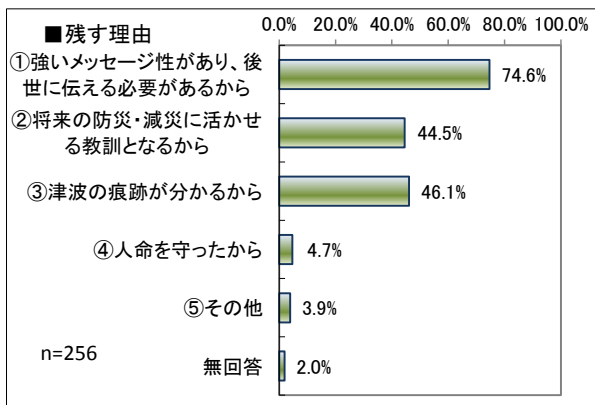
■その他

- ・縮小模型 等

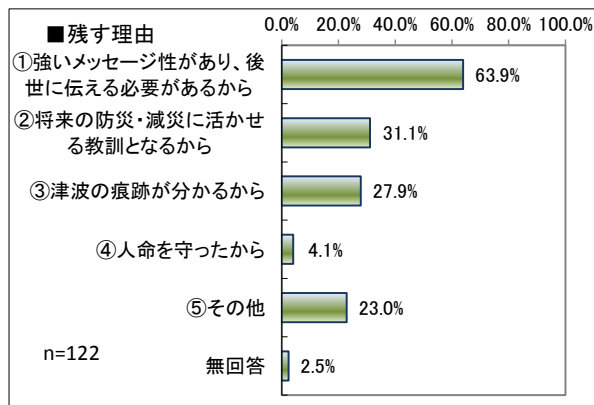
【残す理由】

- 「強いメッセージ性があり、後世に伝える必要があるから」が、牡鹿地区を除く全てにおいて最も高い割合である。なお、「牡鹿地区」は、僅差で「津波の痕跡が分かるから」が上回り最も高い割合である。

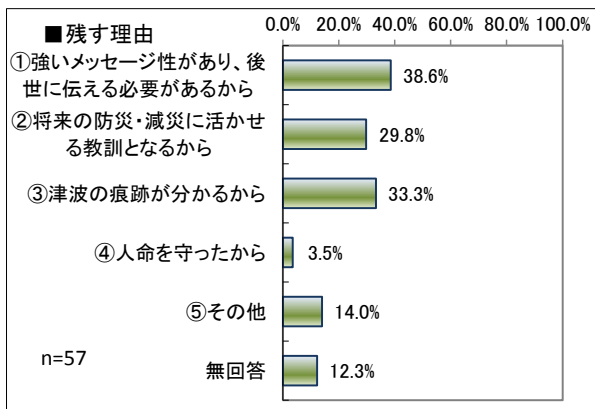
〔門脇小学校〕



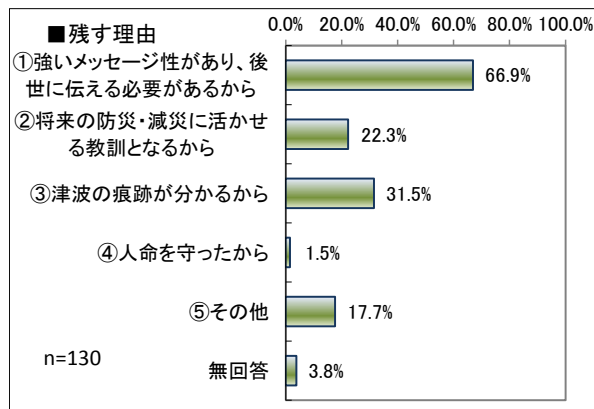
〔観慶丸商店〕



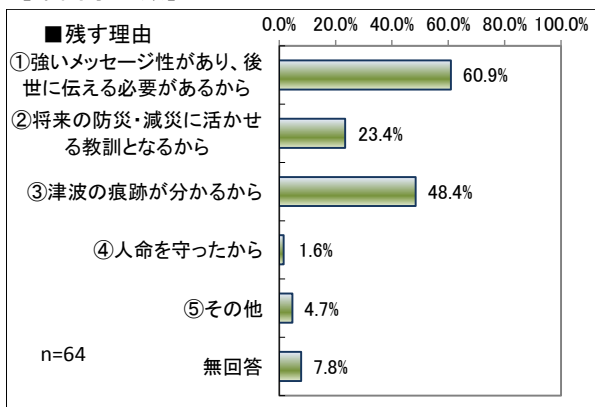
〔旧東北実業銀行石巻支店〕



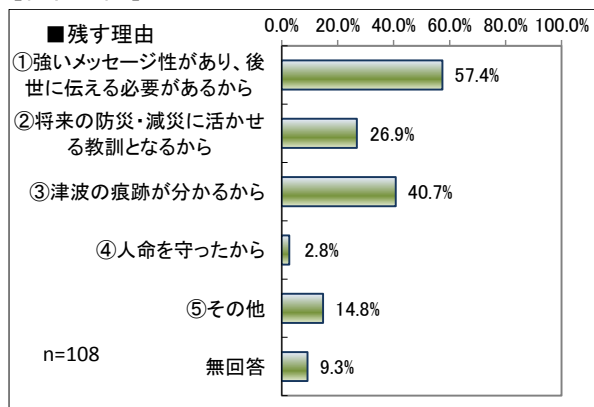
〔旧石巻ハリストス正教会〕



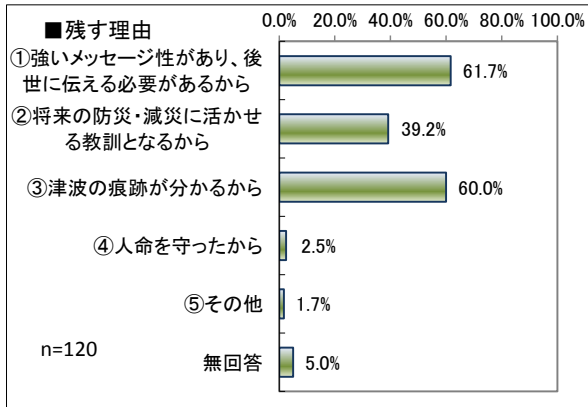
〔本間家土蔵〕



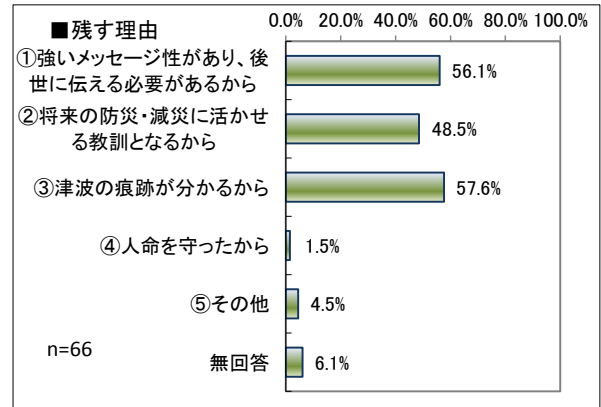
〔住吉公園〕



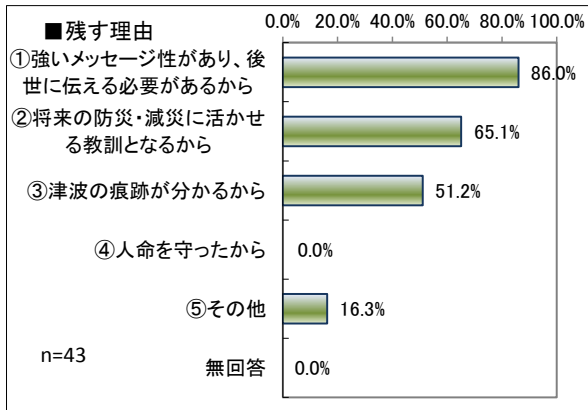
[中瀬北地区]



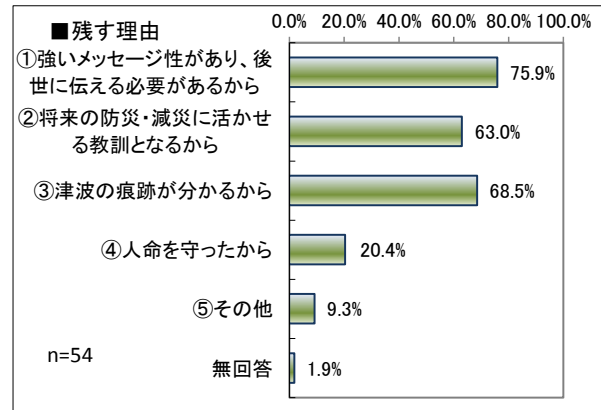
[牡鹿地区]



[大川小学校]



[その他]



【⑤その他（記述回答）】

■門脇小学校

- ・建物での死者はいないので、後世に伝えるためにも残して欲しい
- ・今は見るのがどんなに辛かろうが、30～40年後は、残っていた方がいいと思う
- ・生徒が全員避難し全国的にも知名度が高い。メモリアルパークに移築して保存。
- ・学校は、子どもだけでなく私達大人の思い出の場所
- ・記録だけで十分
- ・津波だけではなく火災もあった事
- ・思い出の場所だから
- ・人は長生きできないし、忘れる生き物だから
- ・メモリアルに改築しやすい構造だから
- ・校庭に震災伝承館を併設する

■観慶丸商店

- ・歴史的建造物である [22]
- ・被災を伝える施設として [2]
- ・街中の集いの場、おもてなしの場として活用
- ・街の中で人々が集まってイベントの場所として生かして欲しい
- ・商業施設として現地で、喫茶室や、癒しの空間にする

■旧東北実業銀行石巻支店

- ・歴史的建造物である [8]

■旧石巻ハリストス正教会

- ・市指定有形文化財、歴史的価値が高い [18]
- ・教会であるから
- ・中瀬北地区の一環として
- ・メモリアルパークへ移築
- ・まんが館に近く宮城県沖でも被災している
- ・（何か別の“力”を感じます 神様は、強い）あの場所に残ったのが不思議なくらい

■本間家土蔵

- ・歴史的建造物である [2]
- ・石巻の発展の証の建物なので

■住吉公園

- ・市名に由来、昔を偲ばせる所 [10]
- ・癒しの場、憩いの場として [4]
- ・なにもかも維持するのは大変では

■中瀬北地区

- ・地盤沈下が分かるから
- ・まんが館を含めたメモリアルパークとして整備、イベントの場として活用

■牡鹿地区

- ・鯨は昔から生きるための糧だったから
- ・鯨の町のシンボル
- ・観光資源として

■大川小学校

- ・子どもの命を守れなかった [4]
- ・指導者の人命尊重の必要性
- ・亡くなった方がいるので現地保存は厳しい。後世へ残すためにも移築保存や写真画像の保存を。
- ・学校管理下で児童が犠牲になった事例として、戦後最悪の施設だから

問9 震災伝承に係るご意見や提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

- 震災遺構に係るご意見やご提案を中心に 198 名の方から記述があった。

	内 容	件数
震災遺構（全般的な意見）	選定方法・選定にあたっての考え方	12
	保存手法（個数を限定、一部保存、集約）	11
	管理・運営費用の問題	6
	被災者への配慮	2
	その他意見	2
震災遺構（賛成意見）	考え方	11
	保存に向けた提案	4
	個別の候補対象物に対する意見	13
震災遺構（反対意見）	考え方	7
	他のことを優先に	3
	遺族の心情考慮	6
	費用の問題	9
	辛い気持ち	3
震災伝承全般	語り継ぐ、伝えていく必要性	23
	防災教育	10
	復興予算を伝承よりも他のことに	10
	分からない	3
伝承手法	建物（伝承館、記念館、資料館、防災センターなど）	17
	復興祈念公園	5
	写真・画像	13
	津波到達地点・高さを示す表示、ポールの設置等	7
	碑、モニュメント等	6
	3月11日の過ごし方	4
	語り部	2
	その他手法	3
その他復興等の関連意見	まちづくり	5
	まちづくり（雄勝地区）	1
	復興予算の使い方	5
	被災者への配慮	4
	避難訓練・方法・体制・施設	17
その他	市への要望	8
	思い・願い・期待・感謝	10
	実態・現状	12
	震災伝承に関するアンケート	9
	施設要望	2
	原発	1
合 計		266

（回答者数：198名）

Ⅱ. 中高生アンケート

1. 調査の目的

- 市内の中学生、高校生を対象に、地震や津波の体験について、後世の人々や他の地域の人々への伝え方に関する意向把握

2. 調査の概要

- アンケート対象者は、市内の市立中学校（11校）、高等学校（2校）の2年生、計799名
 - ・中学校：住吉、湊、渡波、稲井、飯野川、雄勝、大須、桃生、河南西、北上、牡鹿
 - ・高等学校：市立女子商業、市立女子
- 学校での手渡しによる配布回収
- 発送は平成26年2月14日、回収締切は同月28日

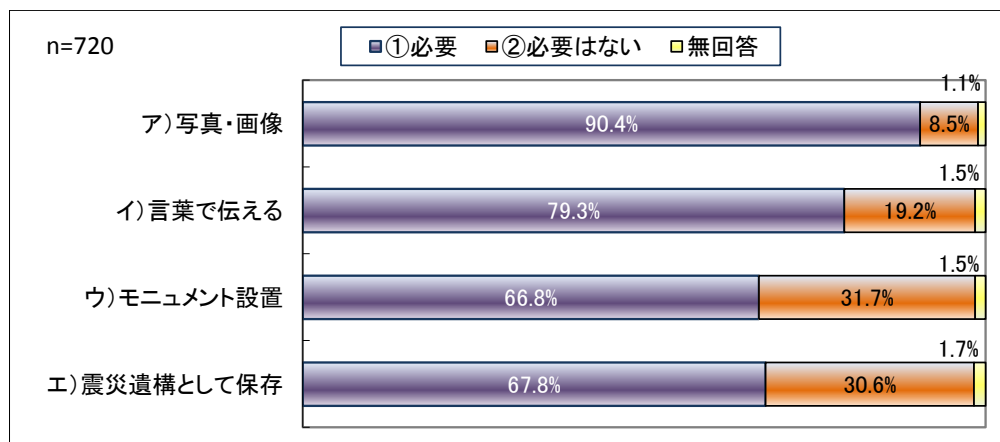
3. アンケート回収状況

- 720票回収（回収率：90.1%）

4. 集計結果

問1 震災の記憶を伝えていくためには、どんなことをすればいいと思いますか。ア)～エ)について、それぞれ①又は②のいずれかに○をつけてください。

- 震災の記憶を伝えていくための手法として9割の方が「写真・画像」が「必要」としている。次いで、「体験を語り伝える」が8割となり、これらの手法を中心に多くの方が必要性を感じていることがうかがえる。
- 「震災遺構として保存」について、他の手法よりは必要性が低い傾向にあるが、7割弱の方が「必要」と回答している。



オ) その他 (n=122)

■手法 [55]

- ・被災した建物を残す [8]
- ・写真で残す [6]
- ・体験談をまとめた本、絵本 [4]
- ・記念碑を建てる [3]
- ・教科書に掲載する [3]
- ・しっかりとした対策を考える [2]
- ・津波がきたことが分かる表示
- ・防災、減災について周知させていく
- ・映像で残す [7]
- ・言葉で伝えていく [6]
- ・学校教育等に取り入れる [4]
- ・震災関連の資料を展示する施設をつくる [3]
- ・テレビ新聞で定期的に報道する [3]
- ・文献などに記録する [2]
- ・新聞を作る
- ・3月11日に、何らかの式のようなものをする

■震災の記憶を伝える必要がある理由 [11]

- ・震災の記憶を忘れないように伝えていく必要があるから [7]
- ・また同じ様なことが起きても被害を減らしたいから [2]
- ・思い出すのもいやだから小さく残しといた方がいいと思うから
- ・同じ状況になったときに情報が必要だから

■震災の記憶を伝える必要がない理由 [17]

- ・嫌な気持ちになる、思い出したくない人がいる [6]
- ・遺構などを残すと邪魔になる、見苦しい [3]
- ・テレビでの放送はあまりしない方がいい
- ・費用がかかる、別の事にお金を使って欲しい [4]
- ・語り部は必要ない [2]
- ・結果的に、今回も役に立たなかった

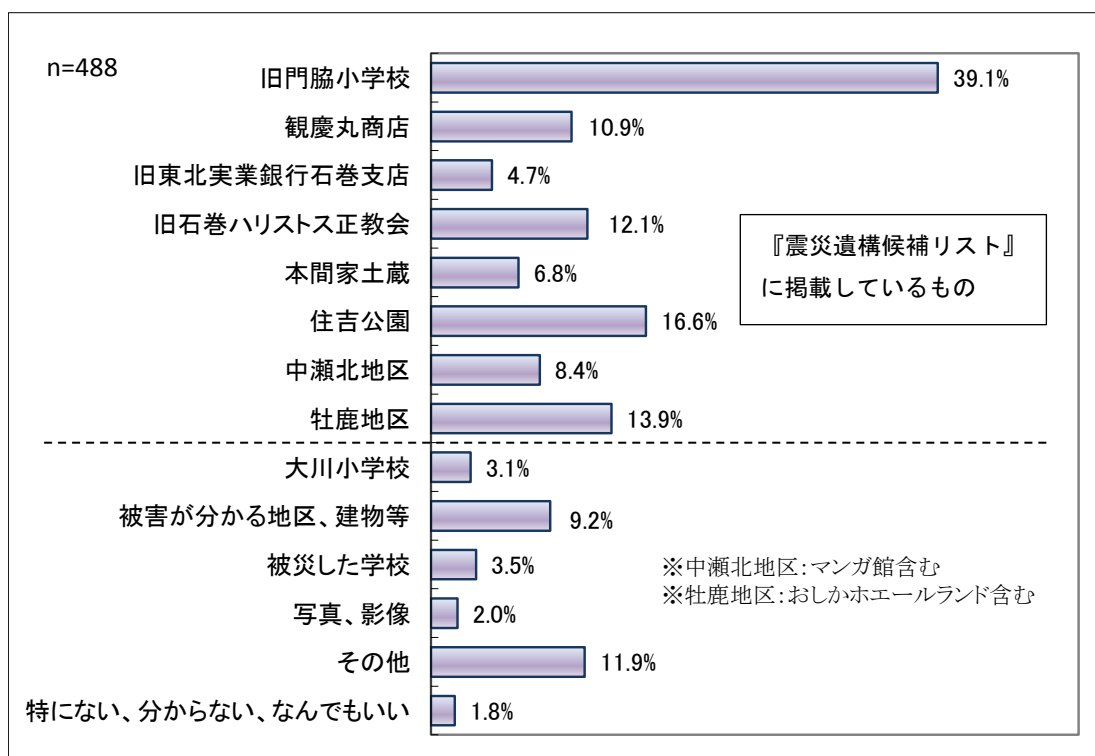
■特になし [39]

■その他 [3]

- ・震災遺構として残す建物等は意味があるものにして欲しい。悲しい過去を掘出すだけでは意味がないから。
- ・津波で多くの物を失った子ども達のことを少しは考えてアンケートを
- ・ただ観光目的でやらないでほしい

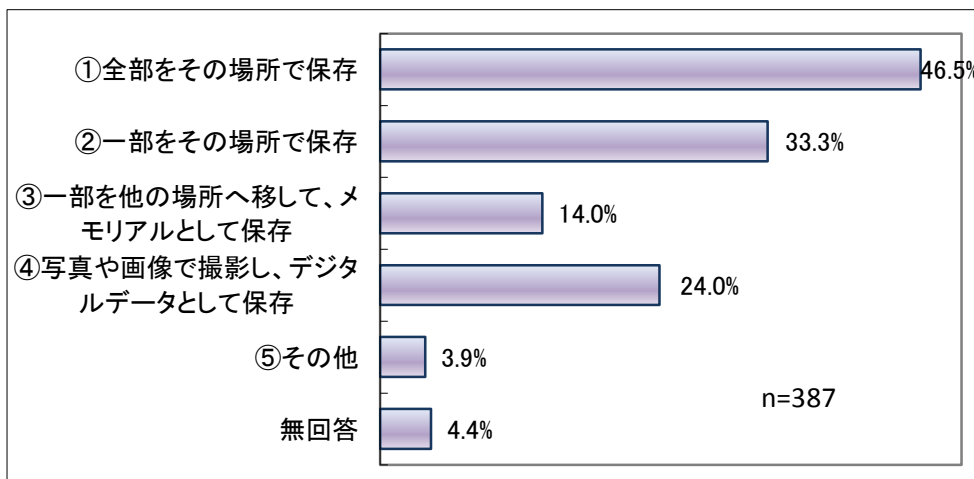
問2 「震災(しんさい)遺構(いこう)」として残すとしたら、どんなものがよいと思いますか。リストを参考に、いくつでもご記入ください。

- 震災遺構として残したいものとして、4割程度の方が「旧門脇小学校」を記載しており、他の項目と比較して高い割合である。次いで「住吉公園」「牡鹿地区」「旧石巻ハリストス正教会」の順に1割程度となり、その他の項目についても意見にばらつきがみられる。
- アンケート票に記載した『震災遺構候補リスト』に掲載していなかった建物のうち、もっとも多く名称が記載されていたのは「大川小学校 (3.1%)」である。



問3 問2で回答された「震災(しんさい)遺構(いこう)」の候補は、どんなふうに残したいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 「震災遺構」候補の残し方については、「全部をその場所で保存」が最も多く46.5%となっている。次いで、「一部をその場所で保存(33.3%)」、「デジタルデータとして保存(24.0%)」、「一部を他の場所へ移してメモリアルとして保存(14.0%)」となっている。



【⑤その他(記述回答)】

■保存方法

- ・一部をその場所で保存し、そのほかをデジタルデータとして保存
- ・震災遺構を広島原爆ドーム的な感じの建物をつくって保存
- ・震災遺構となった大きな建物を頑丈にして、その中に資料館をつくり展示する
- ・船を囲んで記念館みたいなをつくる
- ・中瀬北地区を修復して施設を作ればいい
- ・費用があったら、全部保存した方がいい

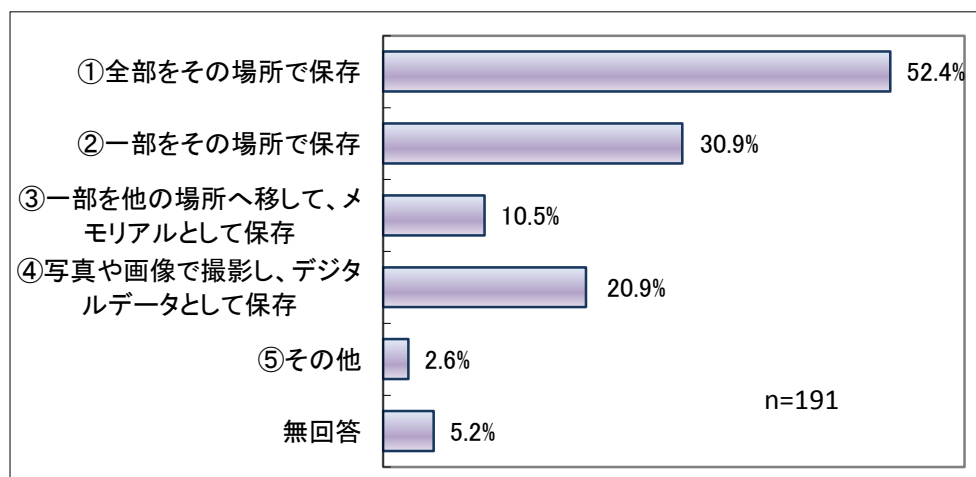
■その他

- ・「震災遺構」を他の県の授業で取り入れる
- ・交通混雑緩和のため、道路を修繕すべき所とそうじゃない所を分ける
- ・訓練などをする場合は、テレビやスクリーンに映す
- ・門小など忘れてはならないがある程度区別していかなければいけない

等

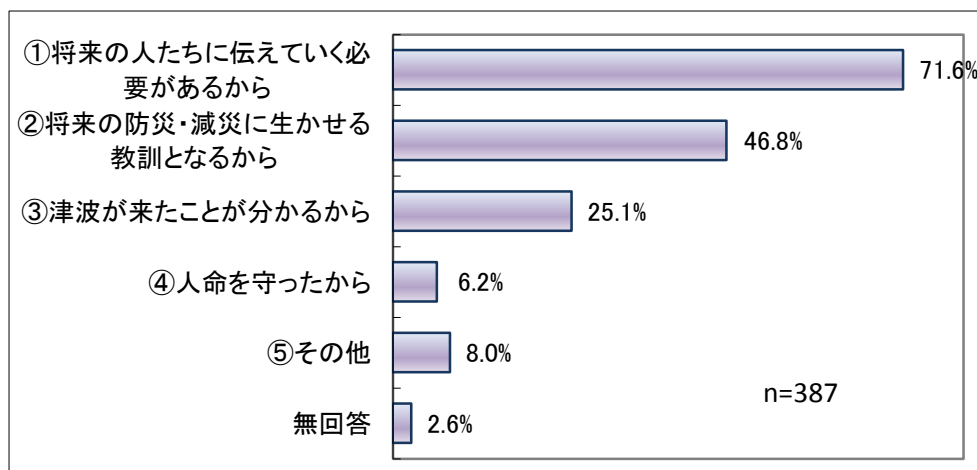
【旧門脇小学校】

- 震災遺構として残したいものとして、最も回答の多かった旧門脇小学校を選んだ方は、「全部をその場所で保存」が52.4%となっており、全体より高い割合を示している。



問4 問2で回答された「震災(しんさい)遺構(いこう)」の候補は、なぜ残した方がいいと思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 「震災遺構」候補を残した方がいい理由については、「将来の人たちに伝えていく必要があるから」が最も多く 71.6%、次いで、「将来の防災・減災に生かせる教訓となるから (46.8%)」、「津波が来たことが分かるから (25.1%)」となっている。



【⑤その他（記述回答）】

■伝えていくため

- ・津波の怖ろしさや被害の大きさなどを知ってもらい、伝えていく必要がある [9]

■備え・教訓として

- ・次に同じことが起きた時に少しでも多くの命を救えるように [3]
- ・速やかに避難できるように、防災意識の強化 [2]
- ・天災は防げないと思うから、準備していて損はない
- ・二度と同じ過ちをしてほしくない。自然をナメちゃだめ。

■忘れないため

- ・震災の事を忘れないため [4]

■残す必要性

- ・石巻に大切な物だから
- ・取り壊す必要がない
- ・歴史的な建物だから
- ・長期保存が可能だと思ったから
- ・湊第二小学校の板に、色んなメッセージとか、キレイな絵があるから

■犠牲者のため

- ・亡くなった方々からのメッセージとして、残しておいた方がよい [2]
- ・犠牲となった方達にとっても、親しみのあった場所を失くしてしまったらその方達が生きていた証まで失ってしまいそうだから

■その他

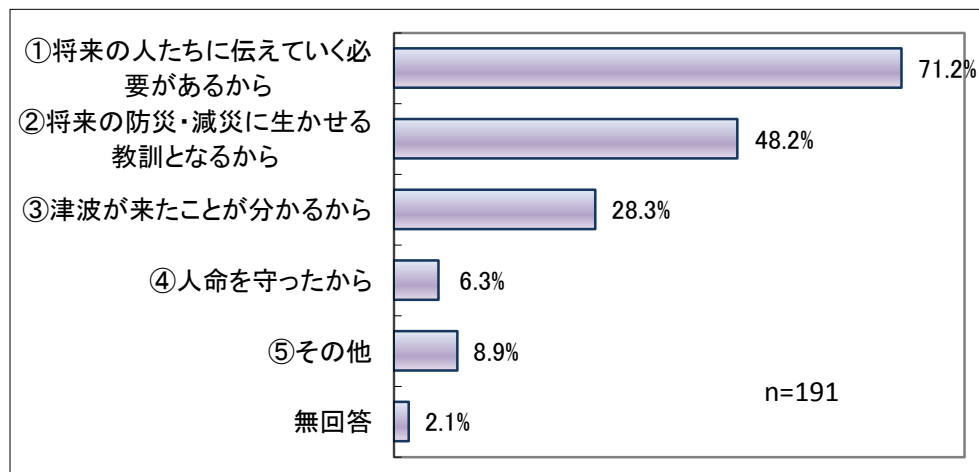
- ・悲しい出来事があったから
- ・自分も女川町で被害を受けたし、一生忘れることのできないことだったから
- ・(守った命も大きいですが) 無くなった命も大きいから
- ・命の大切さをもっと深く知ってもらいたい
- ・原爆ドームのように、観光を復興させることにも役立つと思うから
- ・何かのためになると思う
- ・人に元気を与えたから

■特になし、分からない [5]

等

【旧門脇小学校】

- 震災遺構として残したいものとして、最も回答が多かった旧門脇小学校を選んだ方は、「将来の人たちに伝えていく必要があるから」が 71.2%となっており、全体よりやや下回っている。



Ⅲ. まとめ

- 市内の中高生、18 歳以上の市民のいずれも、写真や画像、体験の語り伝え、震災遺構としての保存など、震災の記憶を伝承することは必要であるという意見が多い。
- これについて、震災遺構そのもので伝える必要性については、中高生の方が 18 歳以上の市民より割合は高く、写真や画像、言葉、モニュメントといった方法で伝える必要性については、18 歳以上の市民の方が割合は高い、という傾向にある。
- 震災遺構の候補となる被災建物等については、市内の中高生、18 歳以上の市民のいずれも、「旧門脇小学校」を最も多く選んでいる。
- 残し方としては「全体を現地保存」、残す理由としては「将来の人たちに伝えていく必要があるから」を、それぞれ最も多く選んでいる。
- 一方で、反対意見の自由記述欄には、震災遺構として保存することへの否定的な意見も多く寄せられていた。